

## 平成21年5月期 第3四半期決算短信

平成21年4月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 カネコ種苗株式会社  
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 正明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克  
 四半期報告書提出予定日 平成21年4月13日  
 配当支払開始予定日 —

TEL 027-251-1619

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年5月期第3四半期の連結業績(平成20年6月1日～平成21年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第3四半期	26,817	—	464	—	508	—	252	—
20年5月期第3四半期	26,114	1.4	213	△4.8	236	△13.4	126	△20.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第3四半期	21.68	—
20年5月期第3四半期	10.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年5月期第3四半期	26,426	9,563	36.2	820.12
20年5月期	34,012	9,761	28.7	837.00

(参考) 自己資本 21年5月期第3四半期 9,563百万円 20年5月期 9,761百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年5月期	—	6.00	—	8.00	14.00
21年5月期	—	6.00	—		
21年5月期(予想)				10.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年5月期の連結業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,200	2.8	1,350	14.1	1,400	16.9	750	14.6	64.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無  
 新規 一社 （社名 ） 除外 一社 （社名 ）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 （注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年5月期第3四半期	11,772,626株	20年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	21年5月期第3四半期	110,997株	20年5月期	109,625株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	21年5月期第3四半期	11,662,221株	20年5月期第3四半期	11,663,973株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急速な景気悪化が続いており、厳しい状況で推移いたしました。サブプライムローン問題に始まった世界同時の景気後退が日本の内需を冷やし、企業の輸出や生産、設備投資が低迷、さらには個人消費が減少するなど、経済情勢は深刻なものになっております。

また、国内農業の状況は、農業従事者の高齢化等の構造問題に加え、肥料や農薬等の生産資材の値上げによるコスト増が、これまで以上に農家経営を圧迫する厳しい状況となっております。こうしたなか、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、農材事業等の売上伸長等順調に推移し、売上高268億17百万円で前年同期比7億2百万円（2.7%）増と増収となり、利益面でも、営業利益4億64百万円で前年同期比2億51百万円（117.9%）増、経常利益5億8百万円で前年同期比2億72百万円（115.4%）増、四半期純利益2億52百万円で前年同期比1億26百万円（100.0%）増となり、売上高・利益面とも伸長いたしました。

事業の種類別セグメントごとの概況は以下のとおりであります。

#### （種苗事業）

購入飼料価格が高止まりしている影響を受け、自給飼料が増産傾向にあること等に伴う飼料作物種子の売上増やエダマメ種子の伸長など順調に推移し、売上高41億76百万円で前年同期比3.1%の増収となりました。

#### （花き事業）

大型小売店に対する積極的な営業展開によるシェアアップ等により順調に推移し、売上高55億14百万円で前年同期比2.7%の増収となりました。

#### （農材事業）

主要取扱商品の農薬は、28年ぶりの全面値上げとなったことに伴い、値上げ前の駆け込み需要が発生し、売上増となりました。また、当社オリジナルの被覆肥料も商品力が評価されて順調に伸長し、売上高108億93百万円で前年同期比6.6%の増収となりました。

#### （施設材事業）

きめ細かな営業展開でシェアアップを図り、農業用ポリフィルムや消耗材の売上が伸長したものの、農家の設備投資意欲の減退に伴う温室や養液栽培システムの完工売上が減少したこと等により、売上高60億58百万円で前年同期比2.3%の減収となりました。

#### （造園事業）

公共工事の低迷等の要因により、減収となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### （1）財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、264億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して75億86百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また「負債の部」の残高は、168億62百万円となり、前連結会計年度末と比較して73億88百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

「純資産の部」の残高は、95億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して微減となりました。

#### （2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は7億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億69百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に仕入債務の減少額及びたな卸資産の増加額が、売上債権の減少額を上回ったことなどにより、資金は8億23百万円減少いたしました。

営業活動により不足した資金を短期借入金で調達したため、財務活動によるキャッシュ・フローは7億16百万円増加いたしました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、前回予想に対して売上高が若干減額するものと考えておりますが、各利益金額に変更はありません。

売上高予想を若干減額した要因は、商品価格の値上り前の駆け込み需要が発生した上半期の反動等により、全般的に需要が低迷し、前回予想に未達となるものと考えております。

しかしながら、農材事業の採算性の向上等により、各利益金額は前回予想を確保できるものと見込んでおります。

なお、平成21年1月8日の平成21年5月期第2四半期決算短信で公表しました通期の連結業績予想との比較は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	45,500	1,350	1,400	750	64.31円
今回修正 (B)	45,200	1,350	1,400	750	64.31円
増減額 (B-A)	△300	—	—	—	—
増減率 (%)	△0.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年5月)	43,957	1,183	1,197	654	56.10円

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法については、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これによる売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,114,002	1,283,704
受取手形及び売掛金	11,277,601	19,459,039
商品	5,188,578	4,124,103
その他	869,750	742,603
貸倒引当金	△40,058	△68,012
流動資産合計	18,409,874	25,541,438
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,135,078	4,086,898
その他(純額)	1,924,617	1,991,447
有形固定資産合計	6,059,696	6,078,346
無形固定資産		
投資その他の資産	191,431	214,438
その他	1,926,582	2,360,250
貸倒引当金	△161,272	△181,694
投資その他の資産合計	1,765,310	2,178,556
固定資産合計	8,016,438	8,471,341
資産合計	26,426,312	34,012,779
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,906,909	18,484,370
短期借入金	4,202,166	3,313,766
未払法人税等	—	282,080
その他	549,797	946,639
流動負債合計	15,658,872	23,026,856
固定負債		
長期借入金	3,583	10,749
退職給付引当金	979,315	1,003,485
役員退職慰労引当金	192,380	182,480
その他	28,182	27,333
固定負債合計	1,203,461	1,224,047
負債合計	16,862,334	24,250,903
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,752,016	1,752,017
利益剰余金	6,333,407	6,243,841
自己株式	△65,257	△64,330
株主資本合計	9,511,433	9,422,796
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,544	339,079
評価・換算差額等合計	52,544	339,079
純資産合計	9,563,978	9,761,876
負債純資産合計	26,426,312	34,012,779

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)
売上高	26,817,872
売上原価	22,100,996
売上総利益	4,716,876
販売費及び一般管理費	4,252,422
営業利益	464,454
営業外収益	
受取配当金	22,083
受取家賃	36,947
その他	40,160
営業外収益合計	99,191
営業外費用	
支払利息	47,143
その他	8,083
営業外費用合計	55,227
経常利益	508,418
特別利益	
貸倒引当金戻入額	10,522
特別利益合計	10,522
特別損失	
投資有価証券評価損	84,710
その他	1,328
特別損失合計	86,038
税金等調整前四半期純利益	432,901
法人税等	180,060
四半期純利益	252,841

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	432,901
減価償却費	151,160
売上債権の増減額(△は増加)	8,198,350
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,212,814
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,485,870
その他	△344,056
小計	△260,328
法人税等の支払額	△541,812
その他の支出	△21,696
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△823,838</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△129,751
投資有価証券の売却による収入	64,573
その他	2,797
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△62,379</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	890,000
配当金の支払額	△163,789
その他	△9,694
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>716,516</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△169,701
現金及び現金同等物の期首残高	895,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	725,502

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	4,176,194	5,514,975	10,893,608	6,058,713	174,382	26,817,872	—	26,817,872
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	34,716	575	1,671	13,584	—	50,546	(50,546)	—
計	4,210,910	5,515,550	10,895,279	6,072,297	174,382	26,868,418	(50,546)	26,817,872
営業利益又は営業損失(△)	639,355	△148,999	302,646	228,467	△12,016	1,009,453	(544,999)	464,454

（注）1．事業区分の方法

売上集計区分によっております。

2．各事業の主要製品

事業区分	主要製品
種苗事業	野菜種苗、飼料作物種子、緑化工事用種子、ウイルスフリー種苗
花き事業	球根、花苗、家庭園芸用資材
農材事業	農業用薬品、被覆肥料
施設材事業	農業関連資材、温室・養液栽培システムの設計施工
造園事業	造園・土木工事の請負施工

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年6月1日 至平成20年2月29日)
	金額
I 売上高	26,114,940
II 売上原価	21,553,070
売上総利益	4,561,869
III 販売費及び一般管理費	4,348,736
営業利益	213,132
IV 営業外収益	84,056
V 営業外費用	61,182
経常利益	236,007
VI 特別利益	39,141
VII 特別損失	58,673
税金等調整前四半期純利益	216,474
税金費用	90,060
四半期純利益	126,414

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年6月1日 至平成20年2月29日)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	216,474
減価償却費	157,436
売上債権の減少額	7,737,162
たな卸資産の増加額	△510,871
仕入債務の減少額	△8,847,096
その他	△245,598
小計	△1,492,492
法人税等の支払額	△473,535
その他	△29,702
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,995,730
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△231,012
その他	35,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,712
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	2,140,000
配当金の支払額	△164,237
その他	△9,871
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,965,890
IV 現金及び現金同等物の減少額	△225,552
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,184,173
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	958,620

## (3) セグメント情報

[事業の種類別売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年6月1日 至平成20年2月29日)

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)
売上高	4,051,875	5,369,966	10,221,575	6,202,447	269,074	26,114,940